

科目名		授業形態	担当教員名	
生命倫理学		講義	東 昌紀	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
最先端の医療技術が、現代社会に対して、これまでには考えられなかった倫理的問題を引き起こしている。それを自分自身の問題として引き受け、多角的に考察する力を修得させることを目的とする。講義では受講生が自ら議論を深められるような論理的な展開の雛形を提示する。				
授業の到達目標				
倫理的問題をいくつかの観点から立論する能力を身につけることができる。その結果、自分自身の考えを相対化することができるようになる。価値の多様性に気付くことによって人間への尊厳を深めることができる。				
授業計画				
回	内容			
1	ガイダンス 生命倫理学の誕生と意味			
2	倫理学的問題を論じる2つの観点・生命倫理の4つの原則			
3	生と死			
4	死と脳死			
5	脳死と臓器移植			
6	日本における臓器移植			
7	功利主義、義務論の展開			
8	生殖技術			
9	遺伝子技術			
10	人工妊娠中絶 日本における法的根拠			
11	人工妊娠中絶 母性と胎児の生存権			
12	人間とは何か 医療システムと生存権			
13	人間とは何か 生存権の範囲			
14	安楽死 医療の側から見られた			
15	安楽死 患者の側から見られた			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験				
レポート・課題	100%	ガイダンスで示した順序に従って倫理的問題が多角的な観点から論じられていることを図る。		
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
生命倫理学入門 5版		今井道夫	産業図書	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
自由記載				
備考				